



広報

KEICHIKU
2020年10月 No.90

けいちくこういきげん
京築広域圏消防本部

空気が乾燥
しています！

火の取扱いには
十分注意をして下さい！

これからの季節、空気がより一層乾燥し火災発生の危険性が高まります。京築広域圏消防本部では、広範囲にわたる林野火災や山岳救助などの事案が発生した場合に、北九州市消防局の防災ヘリコプター「きたきゅう」の出動を要請し、連携して活動を行うことがあります。

今年4月にも管内で発生した林野火災において、「きたきゅう」と協力し消火活動を行いました。

このように周辺地域の消防局（本部）と相互に応援協定を結び、住民の皆様の安全・安心を日々守っています。



秋の火災予防運動週間

11月9日(月)～11月15日(日)

管内での火災発生の原因で最も多いのがゴミ焼きと野焼きとなっており、細心の注意が必要です！

○ゴミなどを屋外で燃やすことは
法律で禁止されています。

○住民の皆様から煙、異臭等による
苦情も多発しています。

主なケース

1.



雑草等に火をつけたままその場所を離れ火が広がった。

2.



風が強い日に田畠の野焼きをしたため、風にあおられ飛び火して、周辺に燃え広がった。

3.



乾燥注意報が出ているときに火をつけて周辺に燃え広がった。

大事は小事より起こる
【意味】小さな油断にも気をつけよという戒めの言葉

ひとたび火が広がると自身で消火することができなくなり、命も脅かされます。住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

消火器のいろは

check

Q 消火器はいつまで使えますか？

A 全ての消火器は、本体に製造年が表示されています。消火器の耐用年数は**業務用10年、住宅用5年**です。消火器によっては使用期限（または品質保証期限）が表示されているものもあります。



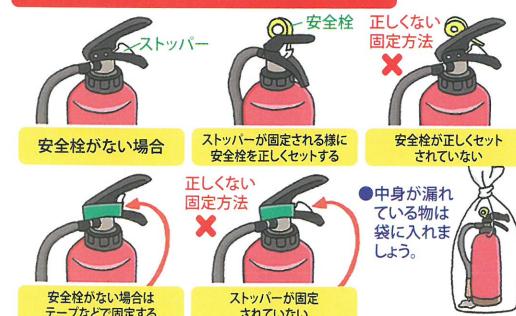
Q 耐用年数の切れた消火器はどうやって処分するの？

A 購入された販売店に問い合わせるか、廃棄物処理業者が対応しています。廃棄には費用が掛かることがあります。不明な際には近くの消防署等に問い合わせください。

注意事項

①収集・運搬する際は、誤って消火剤が飛散、漏洩しないように安全栓を正しくセットしてください。安全栓を紛失している場合には、テープ等で固定してください。

安全栓の有無を確認しましょう



②使用期限内であっても本体に腐食やへこみ等があるものは使用しないでください。解体等も絶対にしてはいけません。



消防長就任のごあいさつ



京築広域圏消防本部

消防長 上森 伸一

本年4月1日に消防長に就任いたしました、上森伸一でございます。

京築地域の皆様の生命・身体・財産を災害から守るという重責に身の引き締まる思いです。もとより微力ではございますが、前任者同様ご指導ご鞭撻を賜りますようお願ひ申し上げます。

さて、近年各地で発生しています災害は、地震や集中豪雨、新型ウイルス感染症の拡大など、いつ、どこで、どの様な形で発生するか予測が困難です。複雑化し、想定をはるかに超える被害をもたらす災害が発生し、消防に寄せる期待は年々大きなものとなっています。

第2に消防団をはじめとする防災機関との連携体制の強化です。防災という目的を同じくする方々と手を取り合い、これまで以上に連携を図りながら、より迅速・的確な災害対応ができるよう

生すれば、その影響は計り知れません。

私たち消防の任務は、地域住民の皆様方の生命、身体、財産の保護と被害を軽くすることです。そのことを肝に銘じ、次のことについて重点的に取り組んでいきたいと思います。

まず、**第1に早急な人材育成**です。現場経験豊富なベテラン職員の退職後、組織が急速に若返っています。住民の皆様に対しまして、これまで以上の安全・安心を確保するため、職員が一丸となり鍛磨を積み、早急に人材の育成を進めてまいります。

取り組みを強化します。

第3に、住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの推進です。7月のような豪雨災害が発生すれば、私たち消防は全力で助けに向かいます

が、河川の氾濫や、土砂に阻まれ、救助作業が行き届かないことが十分考えられます。そこで、住民の皆様に防災講習会を開催し、防災ラジオや広報紙を通じて防災の意識を強く持つていただけるよう地域の体制づくりを推進します。

京築消防は、職員が心を一つにして、若さと機動力で住民の皆様に寄り添った組織づくりを強く推し進めたいと思います。今後とも変わらぬご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げまして、

／よろしくお願ひします！／
新人消防士です！

(令和2年度採用)



住民の皆様の安全安心のため
精一杯頑張るぞ!!
ただいま奮闘中!!

左から
田村 恵士
花木 賢斗
熊谷 洪生
宮崎 浩士

令和2年7月豪雨により緊急

誘導と行方不明者の搜索です。

消防援助隊福岡県隊として、

熊本県を含め全国で発生し

7月4日から14日までの間、当

た豪雨災害により亡くなられ

消防本部から延べ15名の職員を

た方々のご冥福をお祈りする

熊本県八代市に派遣しました。

とともに、被災地の一刻も早い

主な活動としては、住民の避難

復興を心より願っております。



宿営地で隊員が休息するためや、多数のけ
が人等が発生した時に救護所として使用し
ます。専用の機械で空気を注入することに
より数分で設置できます。下の写真は今回
の災害で実際に使用したときの様子です。
→「エアテント」



↑熊本県消防学校における緊急消防援助隊福岡県隊
集結の様子です。

現在の救急出動時の服装について

お知らせ

新型コロナウイルス感染症対策のため、救急出動時の服装(感染防護衣)が変わっています。住民の皆様の安全のため、また救急隊員自身の安全のための

方法です。当分の間、写真(右)の服装で出動、処置等を行いますのでご理解をお願いします。状況により、今後も服装等が変わることがあります。



ヘルメット、ディスホ手袋は今まで通り身につけて、交通事故等の出動時には編上靴・革手袋を装着しています。